

令和2年1月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和2年1月30日(木) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第1委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子
事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	是川縄文館副館長	小保内	裕之
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	西地区給食センター所長	川口	晃司

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和2年1月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。

はじめに、議案第1号「八戸市社会教育委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いします。

議案第1号 八戸市社会教育委員の委嘱について

(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第1号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第1号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第2号「八戸市子ども支援センター条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第2号 八戸市子ども支援センター条例の一部を改正する条例の制定について

(大坂子ども支援センター所長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第2号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第2号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。はじめに「令和元年度第3四半期の業務報告について」は、事前に質問をいただいております。

【令和元年度第3四半期の業務報告について】

(伊藤教育長)

まずは3ページの「学校給食関係」について、武輪委員からお願いいたします。

(武輪委員)

3ページ、学校給食グループの「(3)学校給食・食育活動見学会」に出席させていただきましたので、授業を参観しての感想を述べさせていただきたいと思います。

豊崎中学校での授業でしたが、こちらは全校生徒による思考ツールを使った食育活動に関する話し合いということで、授業内容が「食事を通じてなりたい自分を目指すための方法を考えよう」という題材でした。事前アンケートで生徒たちが困っていることや改善したいこと、目指したい体や心の状態のアンケートをとり、それをもとに6つのテーマに分け、課題解決のための探求学習を行ったという発表内容でした。そのテーマは、メンタル、肥満、集中力、美肌、睡眠、筋肉についての内容でした。50分間の授業の中での発表でしたが、どの班も非常によくまとめられており、大変分かりやすい内容でした。当日の発表に至るまで、班の中でよく話し合い、調べ、考え、一生懸命まとめ上げた様子が伺え、とても関心いたしました。小学校の授業参観はインフルエンザのために中止となりましたが、それまでの事前準備であったり、取り組んできたものを、次に生かしていただきたいと思います。

次に「(5)給食センター見学会及び学校給食試食会」については、今年度で2回目の開催であったと思いますが、今年度の様子、参加した方々の感想、今後の取組について何かありましたらお聞きしたいと思います。

(中村学校教育課長)

「学校給食・食育活動見学会」につきまして、ご感想いただきましてありがとうございます。今後も学校給食を通じての食育活動の充実に努めていきたいと考えております。

二つ目の「給食センター見学会及び学校給食試食会」につきましては、西地区給食センター所長よりお答えさせていただきます。

(川口西地区給食センター所長)

それでは、「給食センター見学会及び学校給食試食会」の実施状況について報告します。本事業は、学校

給食を通して食についての理解を深めることを目的に、昨年度に引き続き、八戸市の一般市民を対象として西地区給食センターにおいて開催しました。実施日時は令和元年11月28日木曜日、午前10時から12時半です。当日の参加者は八戸市民44名で、昨年度に比べて10名増えております。参加者の移動手段の内訳は、八戸市庁別館前から発着する送迎バスを利用された方が20名、自家用車で来所された方が24名となっております。また年齢・性別による参加者の内訳は、昨年度と同じく60代から70代の方が多く、半数の22名いらっしゃいました。性別では、男性の参加者が昨年度の3名から今年度14名に増えました。ご夫婦での来所者も多く、そのうち3名は小学校入学前の乳幼児を連れて参加されておりました。

見学会の内容ですが、はじめに2階の見学通路から釜調理室での調理作業を見学しました。給食センターの紹介、DVDの視聴、学校給食の概要説明、食育コーナーの見学と続き、最後に実際に提供している学校給食を試食していただきました。参加費は給食の試食代260円で、これは八戸市の小学校の給食費1食分と同額です。

参加者の募集方法につきましては、前回と同じく、「広報はちのへ」と「市ホームページ」への記事掲載、毎月保護者に配布している「献立のお知らせ」にも掲載いたしました。参加者アンケートを見ますと、今回の見学会・試食会を知ったきっかけについて、ほとんどの方が「広報はちのへで知った」と回答されており、それ以外の方は、友人からの誘いということでした。

また「本日のスケジュールの中で一番良かったものは何ですか」という設問に対しては、昨年度は行っておりませんでした。しかし、「釜調理室での調理作業の見学」という回答でした。これは昨年度の定例会において委員からいただいた意見を参考に、開始時間を1時間早めて組み込んだものです。2番目に良かったものは、「給食の試食」という回答でした。

「スケジュールの流れや時間配分、またスタッフの対応はどうか」という設問では、「良かった」との回答を多くいただき、「良くなかった」との回答はありませんでした。参加者からは「試食した給食の味付けが薄味で良い」、「でんぷんが控えめで今の時代に合っている」、「普段塩分を取りすぎていることが良く分かった」等という給食の味に関するご意見を・感想が多く、「薄味でおいしくない」というご意見はありませんでした。また、「アレルギーの子どもへの配慮や衛生管理の徹底、安心安全な給食を提供する姿勢が素晴らしい」といったご感想もいただいております。

今後の課題といたしまして、広報はちのへ等での周知方法について検討する必要があると認識しております。広報はちのへ11月号に募集要項を掲載しましたが、地域によって配られた日時が多少ずれるため、早く届いた方たちの参加申込みによって、かなり早い段階で予約がいっぱいになってしまい、遅く届いたご家庭からの申込みをお断りしなければならない状況になりました。今回は、申込み受付開始日を設定するなど、周知方法に工夫が必要であるかと思われまます。

それから、スケジュールの都合上、休憩時間をほぼ取れず、参加者の方から「見学スケジュールの合間にトイレタイムなどの休憩が必要」という意見もいただいておりますので、その点も配慮してまいります。また、「小・中学生も来られるよう夏休みや冬休みにも開催してほしい」という意見もありましたので、調理場の作業の様子が見られない期間になりますが、検討していきたいと思っております。

最後に、昨年度の定例会で委員さんからいただいたご意見や昨年度の参加者アンケート等を参考に改善した結果、今回の参加者からは昨年度と同等以上のご好評をいただけたものと感じております。次年度は、今回いただきました皆さんの声を参考に課題を解決して、市民の皆様へ学校給食についての関心と理解を深めていけるよう企画してまいりたいと思っております。

(武輪委員)

ありがとうございます。昨年度のアンケートや意見を踏まえて実施し、市民の方々からも高い興味・関心が得られ、応募が多くあったというのは大変嬉しいことですので、また次年度につなげていただければと思います。本当にありがとうございました。

(伊藤教育長)

その他、関連質問ございませんか。

[質疑なし]

私から一つお尋ねするのですが、川口所長がお話したアンケート結果の内容や参加者からも好意的なご意見をいただいておりますが、働いている皆さんにも伝えているのですか。

(川口西地区給食センター所長)

今回の見学会のほかにも、西地区給食センターの施設見学はよくあるのですが、いただいた声をその都度従業員にも知らせております。

(伊藤教育長)

このような意見が直接従業員に届くと「頑張ってたかった、もっとおいしいものを作ろう」と思う気になるでしょうから、ぜひ伝えていただきたいと思います。また、機会を見ながら、課題も含めてセンター全体で取り組んでいけば、さらに良くなるだろうと思います。詳細にありがとうございました。

次に、7ページ「防災ノート活用事業」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

7ページの「防災ノート活用事業」についてです。各小・中学校に対するアンケートの実施、印刷業者への二訂版の製本依頼を行った旨の記載がありますが、アンケート結果について、また、二訂版における変更点等ありましたら、お聞きしたいと思います。

(西山教育指導課長)

武輪委員のご質問にお答えします。昨年の10月に市内全小・中学校を対象に、防災ノートの活用状況等についてのアンケートを実施いたしました。その結果、市内全小・中学校では「学校行事や授業等を通して防災ノート（二訂版）を活用した防災教育を行っている」という報告がありました。防災ノートの活用は「避難訓練等の学校行事」が最も多く、次いで「特別活動」、「総合的な学習の時間」等の授業での活用が多い状況であります。具体的には、避難訓練や保護者引き渡し訓練、地域の防災訓練等の際に、事前学習や事後の振り返りなどで防災ノートを活用し、児童生徒に防災の知識を身に着けさせるとともに、地域住民や保護者と連携した実践的な防災教育の推進を図っている学校もありました。さらに、「特別活動」や「総合的な学習の時間の授業」等においては、防災ノートを活用しながら、地域の危険箇所等をまとめる地域安全マップの作成等を通して、児童生徒の危機回避能力の育成を図っている学校もありました。

また、家庭と連携した防災教育につきましては、アンケートを実施した二学期の時点で、8割以上の学

校が児童生徒に防災ノートを家庭に持ち帰らせるよう指導を行ってまいりました。その他2割の学校についても、今後家庭と連携して指導をしていく予定となっております。令和2年度防災ノート（二訂版）の変更点はございませんが、今後関係部局と連携して、防災ノート（二訂版）のハザードマップを新しいものに差し替える予定となっております。

（武輪委員）

ありがとうございます。先日、私立幼稚園協会の集まりに参加した際も、防災に対する保護者の意識が非常に高い印象を受けました。地域差もあると思いますが、保護者の方からも市で作成したハザードマップを上手く活用できず、実際に災害が起きたときには避難することが難しいのではないかというお話もありました。また、昨年の豪雨による水害という点でも、川の氾濫や下水道の氾濫というところも保護者の意識が高かったですので、学校側においてもそういう部分に力を入れていただければと思います。

（伊藤教育長）

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

次に、7ページ「ポートランドインターナショナルスクールの受入れ」について、武輪委員さんからお願います。

（武輪委員）

この事業は八戸市としても初めての試みとして、昨年11月に受入れを行ったと思います。学校や子どもたちの様子、今後の取組について、どのように考えているのかをお聞きしたいと思います。

（西山教育指導課長）

ポートランドインターナショナルスクールからは、日本語クラスの小学校5年生に当たる児童5名、男子4名、女子1名が八戸市を訪れました。スクールの児童らは11月8日に到着し、その日から交流先である西白山台小学校の児童の家庭でホームステイを開始しました。西白山台小学校での交流は、基本的に特別なことは行わずに、普段の学校生活に参加してもらおうというスタイルで行いましたが、インターナショナルスクールでは日本語を選択して勉強している児童たちですので、読み書きも大きな問題はなく、授業に参加することができておりました。また、りんご狩りや収穫祭、高齢者との交流等の特別授業では、周囲と楽しそうに活動している様子も見られたということです。学校ではホストファミリーの児童だけではなく、他のクラスの児童も積極的に話しかけたり、休み時間にはサッカーやドッジボールなどで一緒に遊んだり、たくさんの児童と交流しておりました。児童らの八戸滞在は11月15日金曜日までとなっておりますが、充実した内容の交流になったものと考えております。

なお、インターナショナルスクールでは今年度同様、来年度もホームステイによる交流を希望しております。インターナショナルスクールの児童の受入れは、普段の学校生活では得られない新しい学びや発見が期待できることなどから、当市の児童にとっても有益であると考えられますので、来年度以降も受け入れる計画としております。

(武輪委員)

青少年の海外派遣受入れ等もありますので大変だと思いますが、八戸市の子どもたちにとっても有意義なことであると思いますので、可能であれば、また続けていただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、13ページ「教員国内・海外研修」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

総合教育センターにおいて、毎年、教員の国内・海外研修を行っているかと思いますが、先生方がとても活発に研修に参加しているように見受けられました。先進地での研修は、先生自身のスキルアップや励みへとつながり、さらに子供たちのために生かされていくと期待しております。具体的に今年は力を入れて研修に参加するよう周知したり、先生方の方から積極的に参加があったのか、何かあればお聞きしたいと思います。

(佐藤総合教育センター副所長)

本日、この研修発表会が総合教育センターで行われており、竹花所長が欠席させていただいております。この事業については、昨年度までは専門課程の研修期間が35日間でしたが、今年度から15日間に変更になりました。昨年度よりも応募数が減少するのではと心配しましたが、昨年度は4名、今年は7名ということで応募が多くなりました。新学習指導要領の全面实施に向けて、校内研究会や各小・中学校の研究会で中核を担っている先生方を校長先生が積極的に推薦して下さったのかなと思っております。明日の研修発表会には武輪委員さんも来てくださりますが、研修の成果を見ていただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、15ページ「特別支援教育推進事業」及び「教育相談・適応指導教室事業」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

全体の事業に関連すると思いますが、こども支援センター全体での相談数は前年から少し減少しておりますが、全体としては大変多く、業務的にも連携を図りながら密に行われていると思います。

こども支援センターは、今年の6月に田向地区に建設中の総合保健センターに移転される予定ですが、年度替わりの繁忙期と総合保健センターへの引越し準備等が重なりますので、さらに過剰な労働状況になるのではと懸念しております。職員の健康面も心配しておりますので、現在の準備状況なり、どのような

状況であるかお聞きしたいと思います。

(大坂こども支援センター所長)

こども支援センターでは、現在、移転後の業務等について検討を重ねている状況でございます。実際の引越し作業になると、相談等の通常業務と並行しての作業となりますので、できる限りの事前準備を心掛け、職員への過度な負担にならないよう注意したいと考えております。

(武輪委員)

引越しにかかる事務作業のみならず、日常の業務の相談件数の増加によっても、精神的な負担となりますので、業務分担等考えていただければと思います。

(伊藤教育長)

そうですね。相談に乗っている部署の人のメンタルケアが疎かになるのはまずいですね。過重負担にならないようお互い協力してやっていきましょう。

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、18ページ「企画展示・貸出し」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

18 ページ「企画展示・貸出し」の中の「㊦芥川賞・直木賞八戸出身作家ダブルノミネート記念！」についてです。冒頭の教育長のお話にもありましたが、八戸市民の方々もダブル受賞なるかと期待されていたかと思います。図書館において、このダブルノミネートに関連した展示等について検討している点がありましたら、お聞かせいただければと思います。

(田茂図書館長)

図書館では、八戸市出身の木村友祐さん、呉勝浩さんがそれぞれ芥川賞と直木賞にノミネートされたことを受けまして、12月20日から1月14日まで実施予定であった企画展示・貸出しの終了予定を延長し、本日1月30日まで行っております。ノミネートされた作品だけでなく、過去の作品も展示・貸出しをしておりますが、大変好評で在庫がほとんど無くなる状況であります。残念ながらお二人とも受賞に至りませんでした。今後、芥川賞・直木賞に限らず、八戸市出身者及び八戸市関係者が文学賞にノミネート、または受賞された場合は展示・貸出しを行い、市民の皆様に広く紹介したいと考えております。

なお、現在図書館では、今回及びこれまで芥川賞・直木賞を受賞されました作品の展示・貸出しを1月15日～2月11日まで行っておりますので、併せてご利用いただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

次に、23ページ「特別展等開催事業」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

博物館で開催された特別展「クマと生きる―資料でたどる人と熊―」について、感想を述べさせていただきます。最近、人里において熊の被害が発生したりと、熊は人間の敵であると言われがちです。しかし、この特別展では様々な角度から熊を展示しており、年代問わず楽しめる展示であったと思います。熊のプーさんのコーナーがあったり、隣の部屋には熊に関する絵本や本も置いてありました。博物館と図書館、博物館の展示と本のコラボのような形で、とても良い取組だと思いましたので、これからも「本のまち八戸」の推進のためにもよろしくお願いします。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

その他、委員の皆さんから質問などありますでしょうか。

(油川委員)

「学校給食」について、感想を述べさせていただきます。先日のデーリー東北新聞の「天鐘」の欄に、八戸市の学校給食は郷土料理をふんだんに使ったメニューであるということで、大変励みになるお言葉が書かれてありました。学校給食関係の方には大変嬉しいことでもありますし、このように市民の皆さんに称賛していただけたということも私も大変嬉しく思いました。日頃からのご努力ありがとうございます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。そのほか委員の皆様からご質問ありますでしょうか。

〔質疑なし〕

【令和元年度第4四半期の主な事業予定について】

(伊藤教育長)

それでは次に入ります。「令和元年度第4四半期の主な事業予定について」も、事前に質問をいただいております。4ページの「教育施策市民啓発事業」について油川委員さんお願いします。

(油川委員)

4ページの「教育施策市民啓発事業」において、保護者向けチラシを作成・配布との記載があります。プログラミング教育の効果に関する内容のチラシ掲載予定がありましたら伺いたいと思います。

(西山教育指導課長)

油川委員のご質問にお答え申し上げます。小学校は令和2年度、中学校は令和3年度から新学習指導要領が全面実施となります。保護者の皆様にもその概要をご理解いただくために、現在、周知用のチラシを作成しているところです。内容については、新学習指導要領の趣旨に加え、保護者の関心が高いと思われる小学校の英語教育やプログラミング教育、特別な教科道徳について、その概要と八戸市の取組を掲載する予定となっております。ご意見のありましたプログラミング教育につきましては、児童の論理的思考力を身に着けるための学習であるという趣旨や授業での活用例について掲載する予定となっております。なお、チラシにつきましては3月下旬に完成させて、4月以降に各学校の参観日や面談などの機会を利用して、保護者の皆様に配布する予定としております。

(油川委員)

ありがとうございます。このことに関しまして、コンピュータや情報通信ネットワークに慣れ親しむだけの目的ではなく、課長からも説明がありましたが、もっと広い視野に立った目的を持っているということと、来年度からの小学校全面実施ということを保護者の方に広く周知していただければ、ありがたく思います。また、チラシ作成にあたっては、人とのコミュニケーション能力の向上や課題発見、課題解決能力の向上にもつながり、生きる力につながっていくという内容の記載についても検討いただければと思います。

(西山教育指導課長)

新学習指導要領に則りまして、すべての学習活動が生きる力につながるという観点で取組を進めていくこととなりますので、プログラミング教育のみならず、全教科を通してコミュニケーション能力、課題発見、課題解決などというところで取り組みたいと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、7ページ「令和2年八戸市成人式」について、武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

今月行われました成人式について、感想を述べさせていただきます。今年の成人式は保護者の方の出席も大変多かったように思います。式が終わった後に2階席に上がりましたら、新成人と保護者で大変混雑しており、ご家族の方も一緒に新成人を祝いたいというお気持ちを感じました。新成人の人数自体は年々減少傾向かと思いますが、保護者の方の参加も増えてくることを考えますと、会場についても検討の余地があるのかなと思います。個人的に考えたのはYSアリーナでの開催です。1月はスケートシーズンになりますので、成人式の開催は時期的に難しいかと思いますが、せっかくYSアリーナができましたので、新成人がスケート靴でリンクを滑るということも、氷都八戸ならではの発想ではないかと思いました。そ

うということも頭の片隅に置いていただき、会場を考えていただければと思います。

記念品に関しても、記念品のボールペンや三社大祭の山車がプリントされたお煎餅であったりと、新成人の方も喜んでいただいていると思います。ただし、お煎餅に関して言いますと、持ち歩いている間に粉々になってしまったという話も聞きましたので、その点も一つ申し上げておきたいと思います。

最後に、成人式の開催に向けては、準備協力会の方々が何度も話し合いをされ、準備されてきたかと思っています。成人式が終わった後にその方々を集めて、どうであったかというような話し合いをされると、次の成人式につながっていくと思います。毎年お疲れ様です。

(角濱社会教育GL)

本日、東京出張により課長が欠席しておりますので、私からご説明いたします。当日の成人式の報告になりますが、出席者は1,710人となっております、全体の87%の出席者でありました。教育委員さんをはじめ、皆様にご出席いただきましてありがとうございました。大きなトラブルもなく無事終了したことをご報告申し上げます。武輪委員さんからいただきましたご意見につきましては、今後の参考にさせていただきたいと思います。現時点では、成人式準備協力会の事後の集まりについては予定していませんでしたが、担当者と検討したいと思います。ご意見ありがとうございました。

(伊藤教育長)

そうですね。最後の反省という点からも、あってもいいかもしれませんよね。課でまた検討していただければと思います。

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に『アニメ「めぐみ」』について、油川委員からお願いいたします。

(油川委員)

令和2年1月16日付けで内閣官房拉致問題対策本部事務局政策企画室より、アニメ「めぐみ」短縮版を新たに作成し、その活用促進について通達があったことと思います。このことに対しまして、各学校が積極的に取り入れるために、この第4四半期事業において予定していることがありましたら伺いたしたいと思います。

(西山教育指導課長)

油川委員のご質問にお答え申し上げます。拉致事件を題材としたアニメ「めぐみ」につきましては、平成20年に作成され、DVDとして各校に配布されております。この度、授業で取り入れやすいよう短縮版が作成されたとのことで、より授業で活用しやすくなるものと思われまいます。通知については、昨日県教委から届きましたので、その活用方法等について検討し、各小・中学校に対して周知を図ってまいりたいと考えております。

(油川委員)

ありがとうございます。人権問題への理解を深めさせるということはとても重要であり、いじめ問題解消へもつなげられることと思います。拉致問題に関して理解できる年齢の児童生徒の皆さんに対して、道徳の授業などを通して積極的に活用してもらえるように周知いただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

その他、委員の皆さんから質問などありますでしょうか。

(築瀬委員)

5ページと6ページに「はちのへ郷土かるた」に関連した事業が掲載されております。1月10日には新春「はちのへ郷土かるた大会」が開催されたとの掲載があり、9チームが参加されたようですが、どのような団体が参加されたか分かりますでしょうか。

(西山教育指導課長)

手元に資料がございませんので、具体的な団体名までは分かりませんが、9チームの参加でありました。

(築瀬委員)

分かりました。私の記憶では、去年は仲良しクラブやそういう団体の参加であったと思います。最近の傾向としては、学校単位での参加ではなく、青少年団体や地域団体といったところが多くなっている気がします。私の教員時代とは大きく異なる環境になってきていると感じていましたので、質問させていただきました。

当時は学校内で郷土かるた大会をやったり、大会の予選会を開催したりと、郷土かるたの普及に努めていました。以前にも定例会で話したことがありますが、各学校では、それぞれの地域の実情に合わせた郷土かるたを作ったり、展示したり、実際にかるたをやったりということがありました。私のいた学校でもそういうことを行い、外で遊べない時期などの室内遊びの道具としても、各学級に備え付けていました。今後この郷土かるたの使い方、かるた大会への参加呼びかけ等が大切になるのかなと思いました。学校単位でやらなくても、地域密着型教育の良さを生かして、学校と地域が連携しながら進めてほしいと思っております。

また「愛の一声市民会議」が継続、存続していること自体も、すごいことだと思っています。そして、この団体を教育委員会が担当していることも重要であり、このような行事等の少ない団体を簡単になくすのではなく、郷土かるた自体の持っている意味、大切さというものを踏まえて、今後も頑張してほしいと思います。

もう一つ聞きたいのですが、6ページに令和版の郷土かるたを作成し、3月中の完成予定であるとありますが、どのような内容であるか分かる範囲でお聞きしたいと思います。

(西山教育指導課長)

新しい郷土かるたにつきましては、以前の平成版のかるたが作成されてから30年経過し、八戸の郷土を代表する内容についても若干変化があるかと思しますので、令和になったことをきっかけに改定したいというところでも取り組んでまいりました。各学校に題材や読み札の句の募集をして、その中から委員の中で選定し、絵札につきましては、中学校や高校の美術部等をお願いしており、3月中の完成を目指して取り組んでおります。以上でございます。

(築瀬委員)

ありがとうございました。これをきっかけに郷土かるたの活用がされるように、ぜひ周知をお願いしたいと思います。最近の八戸市ではYSアリーナのオープンなどといった様々な変化がありましたので、そういった題材もあるかもしれませんね。小・中学校のみならず、校種を超えて宣伝していただきたいと思っています。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、「第23回図書館を使った調べる学習コンクール（全国）の審査結果について」事務局からの説明をお願いします。

【第23回図書館を使った調べる学習コンクール（全国）の審査結果について】

(田茂図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(武輪委員)

毎年、この取組については大変楽しみにしており、今年も図書館での展示を拝見させていただきました。その中でも、観光長官賞を受賞しました根岸小学校6年生の杉本よし埜さんの作品がとても素晴らしかったですので、少し感想を述べたいと思います。杉本さんは八戸が大好きという思いから、水産科学館のマリエント「ちきゅう」たんけんクラブに所属しているほか、是川縄文館の是川考古学クラブにも在籍しているそうです。作品の中には「私たちは、はるか縄文の時代から豊かな環境に恵まれているということを小学校生活のまとめとして、図書館を使った調べる学習コンクールに挑戦し、発信していければと考えている。」と書かれており、内容もとても素晴らしいものでした。杉本さんは小学生ですが、私たち大人が思いつかないような八戸の魅力について考えており、今後の観光の活用になるヒントがいっぱい盛り込まれていると感じましたので、VISIT八戸や種差・鮫観光協会の方にもご紹介したいなと非常に思いました。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問ございますか。

[質疑なし]

その他、事務局からの報告事項はありますか。

【えんぶりの日の実施について】

(小笠原教育部次長 当日配付資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(大庭委員)

私はこのチラシを拝見したときに、学校休業日である「えんぶりの日」に合わせて、大人の方も年次有給休暇を取得しようということで、とてもいい取組であると思いました。国のキッズウィークと関連付け、市内の各企業や団体と連携して「えんぶりの日」のPRや有給休暇の取得向上に取り組んでいるとのことでしたので、様々なアプローチ方法があるのだと感じました。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問などありましたらお願いします。

(油川委員)

「えんぶりの日」が始まり今年で2年目になりますが、大きく成長したなど大変嬉しく拝見していました。昨年の「えんぶりの日」は日曜日でありましたが、今年は月曜日の平日が学校休業日になりましたので、状況が分かった時点でどのような様子であったのかをご報告をいただければと思いました。ありがとうございます。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

その他、事務局からの報告事項はありますか。

【北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録推薦について】

(小保内是川縄文館副館長 当日配付資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

その他、事務局からの報告事項はありますか。

〔なし〕

事務局からは以上のようなようです。

最後に、その他ですが、委員の皆様方からなにかありますでしょうか。

〔なし〕

閉 会

(伊藤教育長)

これをもちまして令和2年1月の教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後3時8分閉会)